



しいば 議会だより

第71号

平成25年8月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話 767-0091



日向市との交流試合に12チーム参加(村運動公園)



松尾イーグルス(松尾小)



尾向ソフトボール(尾向小)



杉の子ファイターズ(椎葉小)

6月定例会……………(2)
一般質問 ……………(3~5)

常任委員会等調査……(6~7)
議会の動き ……………(8)

那須清議長が宮崎県町村議会議長会会長に就任!

6月4日の町村議会議長会臨時総会において、役員改選が行われ、不肖私が、会長にご推挙を頂いたところであります。この上ない喜びであり誠に光栄に存じます。同時に今、我々を取り巻く国内外の情勢、現状を考えると改め身引き締まる思いであります。これまで浅学非才な私を、ご支援、育てて頂きました皆様の一方ならぬご厚情に、衷心よりお礼と感謝を申し上げる次第であります。

今後、村、郡、県町村議会議長会会長として、与えられました職責を、関係各位の皆様の力添え、ご協力を頂きながら、悔い残すことなく全身全霊で取り組んで参る所存であります。

これまで同様一層のご指導と、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年6月定例会

平成25年度
一般会計補正予算は、**252,777千円 減額**
総額 48億24,223千円

平成25年度 補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	797	475,436
水道事業特別会計	△268,398	50,878
電気事業特別会計	△491	34,563
介護保険特別会計	4,762	365,336
後期高齢者医療特別会計	2	81,991
ケーブルネットワーク事業特別会計	△13,574	64,464

6月定例会が11日開会された。

同意 1件 固定資産評価審査委員会委員の選任について
那須清重氏・黒木正典氏 いずれも再任

議案 14件 税条例の一部改正や村営住宅、山村定住住宅の使用条例の一部改正、工事契約などが審議された。

村営間柏原発電所更新工事

契約額 4億62,630,000円

契約相手 日本工営(株)

工期 平成25年6月18日～平成27年3月23日

5月臨時会

承認 1件

国民健康保険税条例の一部
改正が審議された。

6月臨時会

議案 1件

椎葉中学校共同調理場新築工事

契約額 1億18,498,800円

契約相手 大乘技建日本(株)

工期 平成25年7月4日～

平成26年1月31日

村長に聞く!

～ 一般質問 ～



河口吉弘 議員

質問
1

自動車の乗り入れができない世帯の現状と対策について

問

村内で、庭先まで自動車の乗り入れができない世帯の実態はどのようになっているのか、その世帯に対して必要な対策はどのように行おうとしているのか。

答

村長回答

庭先まで道路がなく、車両が侵入できない世帯の現状は、村内全体で35世帯。そのうち、上椎葉などの地理的条件等によって整備施工が困難な世帯は、27世帯。それ以外の8世帯は、現在取り組んでいる集落道開設事業にて施工可能箇所と考えられる。

村単独による集落道開設事業の活用を推進し、自宅まで車両が侵入することができない世帯に対し、道路の開設を行って、その不便さを解消するとともに生活環境の向上を図ることを目的として取り組んでいる。上椎葉地区のように地理的条件等で施工が困難な世帯には、里道、歩道等の整備要件を満たす箇所であれば、村で整備を行いたい。



福祉関係との関連もあり、ソフト面も視野に入れながら、通行に当たって、安全確保等、高齢者世帯の生活の利便性の向上を図っていきたい。

質問
2

奨学資金返還免除制度の見直しについて

平成24年度末に、奨学資金返還免除制度について、村民アンケート調査や教育委員会の議論を踏まえて見直しが行われた、その内容について教育長の見解を伺う。

問

1) 奨学資金の貸付条例等々をよく見て感じるところで、奨学資金の貸付対象者、いわゆる債務者は世帯主なのか、父母なのか、返還免除対象者なのか。

答

教育長回答

借主は奨学資金を借りる者、保護者。

貸付対象者は借り入れの対象となる者、生徒や学生。

返還者は貸し付けを受けた借り主、保護者。

返還対象者は奨学生。

返還免除対象者は奨学生で、帰村した者。返還が免除されるのは借り主で返還者である者となりますが、実際には、奨学生だった者が借り主にかわって返還していく例もある。

問

2) 制度の見直しで、返還免除額の上限の144万円は、高等学校に月額4万円で3年間借り入れをした金額で、返還免除額の対象は、高校就学時にかかるものと理解していいものか。

答

教育長回答

免除の上限144万は、高等学校の貸し付け総額を上限としたが、高等学校以外の専門学校や専攻大学なども対象としている。

問 3)免除対象者の所得制限を今回設けているが、住民税の課税所得170万円を基準としており、その根拠について伺う。

給与収入額に直すと約270万円になると思うが、これは、世帯の借り主の所得なのか、それとも就学した方の所得なのか。

答 教育長回答

本村の地方公務員31歳から35歳の平均所得を算出し、その給与所得を基準とし所得制限した。根拠は、奨学金の返還が、借入期間の4倍の期間、高校で12年間、大学で16年間、高校から継続して大学までで21年間という、長期の返済期間になっているが、できるだけ多くの定住者に本制度の適用が図られるようにした。なお就学した方の所得となる。

問 4)奨学資金の返還に当たっては、在学中は返還猶予というふうに条例で定めており、今回、改めて高校就学後1年間は返還の猶予を行うという制度については、条例で規定すべきものであると考えますが、この点について見解を伺う。

答 教育長回答

1年間の返還猶予の規定は、高校、大学等を卒業し、就職した場合、前年の所得が反映されその時

点は所得が発生しないこと等を考慮し、1年間猶予するとした。条例と細則で別々に規定するのは、ご指摘のとおり法制上の整合性がわかりにくいという面があり改めることにする。

問 5)奨学資金貸付条例の目的である次代を担う人材の育成は、後継者対策の役割の一部であると認識はしているが、若者定住促進として理解するには、制度的に合理性を欠くのではないかと考え、定住政策については関係各課、関係機関でしっかり議論をしながら、村の施策として構築すべきではないか。

答 教育長回答

本制度を含めた定住・後継者対策については、全庁的な十分な協議や総合的な対応が必要なことは十分理解するところで、今後、これらの課題解決に向けて努力していく。



右田 静男 議員

質問 1 乾椎茸の価格低迷対策について

問 村の基幹産業である乾椎茸の村平均単価が2,000円を下回って、その要因は規格外、山成品など、品柄にも

左右されるが、東日本大震災による、放射性物質が検出された報道に、消費者が不信感を持ち販売が伸びない、風評被害となっている。

村内平均単価が2,000円を下回れば、村としての対応とともに生産者も売上金の一部を積み立てるなどの価格安定基金の必要性もあると思うが、村長の考えを伺う。

また、椎茸生産施設管理事業で一部、施設の老朽化が見られ、利用者が適正な管理に至っていないことに対する対応も求める。



答 村長回答

東日本大震災発生以前から価格の低迷は始まっており、そこに現在の風評被害が追い打ちをかける形となり、現在の安値水準が引き起こしていると考えられる。間近の入札会の結果で5月の第8回入札会結果は1,903円、第9回入札結果は1,685円と、この時期に合わせ物が集中することもあり例年価

格は下がる傾向となるが、2,000円台を下回る、これまでにない厳しい状況である。

販売単価の安定を確保するには、新たな流通経緯の開拓に取り組むことが重要であると考え。また、一方では、生産者の個々の品質管理にも差が生じており、軽くて選別のよいものは高値で取引をされている状況である。5月の入札会では、椎葉支店取り扱いで出荷をした303箱のうち74箱が山成りと企画外を合わせたもので、平均単価を引き下げる要因となっている。このことに対し原因究明を行い、生産指導の内容改善を早急にする必要があると考える。質問の

椎茸価格の低迷の対策と合わせ、椎葉椎茸再生計画の見直しと共選費用の助成の継続、また、依然として要望の高い原木供給事業を一体的に推し進めながら、椎茸部会など生産者の意見や要望を取り入れ、生産や意欲の向上及び所得の向上となり得る取り組みを積極的に進めていく。

椎茸生産施設管理事業は、平成12年度から平成15年度間に3団地7カ所、平成18年度に1団地2カ所の椎茸生産施設を整備している。施設の管理は生産者の要望等を聞き取り、毎年度、修繕経費として予算計上している。



椎葉藤香 議員

質問
1

不妊に悩む方への 特定治療支援事業について

問

不妊症とは、普通の夫婦生活を2年続けられても妊娠されない場合を不妊症と定義しており、現在10組に1組は不妊症に悩んで治療を受けている状態にあり、今は大変身近な問題になっている。

1回の治療費が30万円から40万円程度、高額で保険が適用されず経済的負担が大きいことから、国は平成16年から費用の一部を助成する特定不妊治療費助成事業を実施している。国の補助事業で県は夫婦一組に対し治療費の1年度当たり1回につき上限額15万円まで、1年度目は年3回まで、2年度目以降は年2回までを助成、ただし、一組の夫婦に対する助成期間は通算して5年まで、通算10回を超えないこととしている。所得制限は夫婦合計で730万円未満となっている。

村としても、今後は、経済的負担軽減を図るために子育て支援の状況も加味しながら独自の上乗せ助成の検討を進めていくことが求められていると思うが、村長の所見を伺う。

答

村長回答

対象となる特定不妊治療は、県に指定された医療機関のみで助成の対象となる治療を受けることができる。

夫婦ともに何度も医療機関を受診することになり、特に女性にとっては治療により妊娠に成功した場合、その後の流産や早産のリスク、母体の安全性にかかわるリスクのため、いつでもすぐに医療機関を受診で



きる環境が求められるが、県内の指定医療機関は現在のところ6機関で、そのうち5機関が宮崎市、都城市にあり、県北は日向市の1機関のみとなっている。多くの場合夫婦が何度も治療に通わないと妊娠出産まで結びつかない、もしくは、それでも妊娠出産に成功しないという現状がある。このことから過去5年間に本村の住民がこの助成事業を申請した実績はなく、昨年度の県内の申請実績を見ても、指定医療機関のある地域の件数が多い状況である。

しかし、少子化が進む中で、出生数の増加対策や子育て支援は、本村の重要な施策の一つであり、不妊に悩む夫婦に対する支援は必要であると考え。ただし、不妊の悩みは非常にデリケートな問題で、住民と村職員が身近な存在である本村のような場合は、なかなか相談が寄せられないという問題もある。

各医療機関と行政とのネットワークがないために住民の悩みが行政には届いていない。

このことから、県が行っている支援制度の周知や、不妊に関する相談機関の紹介など、住民への広報啓発を図り、特定不妊治療を希望する夫婦に対して、その需要を見ながら今後支援を検討していく。

危険箇所調査 (5/23~24)

本格的な梅雨入りの前に村内全域で、関係機関合同で危険箇所調査を行った。法面崩壊、落石等の箇所が見られ、中でも通学路である箇所は早急な対策が必要である。



全国町村議会議長会研修会 (5/28~29)

東京都

「これからの町村議会のあり方」をテーマに、全国から1,500名の参加で開催された。

基調講演 「町村議会に期待する」 東大教授 金井氏

シンポジウム 「これからの町村議会のあり方」として、北海道鹿追町・岩手県西和賀町・茨城県大洗町・兵庫県播磨町の各議長をパネリストに論議した。

記念講演 「歴史に見るリーダーの条件」 歴史家 加来氏
「政治・経済の展望」 TBS杉尾氏の講演が行われた。



椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会総会(5/30)

山都町

平成57年に椎葉村・矢部町・砥用町の3町村で期成同盟会を結成し、整備促進に取り組んできたが、現状は整備が進んでいない。そこで、平成25年度には整備要望活動のために、路線の重要性と整備効果、維持管理に要する概算費用等の算出を行う調査・報告書作成(事業費480万円)に取り組み、関係機関と連携して早期整備に取り組んでいくことを決定した。



宮崎県乾しいたけ生産者大会(6/5)

日向市

日向市中央公民館で開催され、本村からも多くの生産者が参加した。団体の部では諸塚村が優勝(131点)、準優勝が椎葉村(122点)、3位が五ヶ瀬町(75点)。個人の部では林野庁長官賞に山中誠氏(袋物・香菇)、中竹栄氏(袋物・天白冬菇)、知事賞には山中誠氏(袋物・香菇)、中竹直人氏(袋物・香菇)、中竹栄氏(袋物・天白冬菇)が授賞しました。おめでとうございます。



入郷地域開発期成同盟会総会(6/27)

諸塚村

入郷地域の産業や経済、文教の振興と道路の開発整備、福祉の充実を図るため、椎葉村、諸塚村、美郷町の町村長、議会議員で構成する期成同盟会総会が開催された。

椎葉村として5件①林業従事者の育成・確保策について、②有害鳥獣による農林産物に対する被害への対応について、③ひむか神話街道(林道間柏原～中山線)の改良促進について、④林道橋梁修繕対策について、⑤テレビ放送のデジタル化に伴い交付金制度について、全体で15件を、知事・県議会議員、東臼杵農林振興局長などへの要望事項として決定、8月中にそれぞれに要望活動を行うこととした。



国道388号(門川～椎葉間)整備促進期成同盟会総会・ 路線踏査(6/28)

美郷町南郷区

国道388号線の整備促進を図るため、この区間に関係する門川町、美郷町、椎葉村で構成する期成同盟会総会が開催された。総会に先立ち、現在工事中の美郷トンネル(西郷区日平～南郷区水清谷 1338m)現場を見学、開通により大幅な時間短縮が行われ、地域の発展に大きく貢献することが伺えた。

村内でも同路線の矢立工区で改良工事が進められているものの、梶尾から大河内間はほとんど手つかずの状態です。同盟会を通して引き続き整備促進に取り組んでいく必要がある。



総務文教・産業福祉常任委員会 合同現地調査(7/22)

尾向区長、区長代理も同行し、同地区の椎葉矢部線、椎葉五家荘線村道改良工事、向山児童館の飲料水、ヘリポート基地などを現地調査した。改良工事内では崩壊もあり、人家、通行の安全確保のために早急な完成が求められる。また広大な面積の本村では、ヘリポート基地が必要不可欠であり、今後も整備が必要である。

東臼杵郡議員研修会(7/23)

日向市

「これならできる鳥獣被害対策」の演題で、鳥獣被害対策支援センター猪本氏の講演が行われた。村内で年間1,600頭以上も捕獲しているが被害は拡大している。講演で被害が増える本当の原因は集落での「餌付け」がある。人間が放置した残飯や不要な作物が動物には餌となっている。このことから、集落みんなで囲いや追い払いを行い、人間の怖さを教え、奥山へと追い払う環境作りをする事が大切である。また、電気柵を組み立てた実施研修も行われた。



県道上椎葉湯前線整備促進 協議会要望活動(7/30)

日向市、宮崎市

協議会役員において、日向土木事務所長、県土整備部長に改良工事の継続等について要望を行った。

平成25年度は、不土野地区に県単独事業を計画したいとの回答があった。



議会の動き

5月	3日	銘水の郷釣り大会	上椎葉
	9日	東白杵郡町村議会議長会	日向市
	10日	区長・区長代理・組合長総会	開発センター
		県道上椎葉湯前線整備促進協議会総会	開発センター
	12日	扇山山開き	松木
	14日	日向警察署庁舎落成式	日向市
	15日	椎葉村観光協会理事会	役場会議室
	16日	県議長会各郡会長会	宮崎市
	17日	奨学資金貸付選考委員会	役場会議室
	18日	村PTA連絡協議会総会	役場会議室
	21日	東九州自動車道建設促進宮崎県央北部期成会総会	延岡市
	23日	椎葉村商工会通常総会	役場会議室
		椎葉村観光協会総会	役場会議室
		国民健康保険運営協議会	すこやか館
	23-24日	危険箇所調査	村内一円
	23-24日	例月監査	監査委員室
	24日	第3回臨時議会	議場
		入郷地域開発期成同盟会役員会	美郷町
		東白杵郡監査委員協議会定期総会	日向市
	27日	社会福祉協議会理事会	すこやか館
		平家まつり実行委員会	役場会議室
6月	27-29日	第37回全国町村議会議長研修会	東京都
	30日	椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会理事会・総会	山都町
	1日	宮崎県置県130年記念式典	宮崎市
	4日	宮崎県町村議会議長会臨時総会	宮崎市
	5日	乾しいたけ生産者大会	日向市
	7日	議会運営委員会	委員会室
	8日	みやざき県民総合スポーツ祭総合開会式	宮崎市
	11日	6月議会定例会	議場
	23日	村長選挙投票日	
	24-25日	九州各県町村議会議長会協議会	北九州市
	25-26日	例月監査	監査委員室
	27日	入郷地域開発期成同盟会総会	諸塚村
		森林盛ネットワーク研修会	日向市
	28日	第3回臨時議会	議場
		国道388号(門川～椎葉間)整備促進期成同盟会総会・路線踏査	美郷町
		県議長会役員会	宮崎市
	29日	消防夏季大会	椎葉小
	30日	女性スポーツ祭	総合体育館

7月	1日	日向東白杵南部広域連合議会	日向市
	7日	体力づくりバレーボール大会	体育館
	8日	地域づくり懇談会	仲塔・鹿野遊
	9日	地域づくり懇談会	尾向・不土野
		東白杵郡定例議長会	美郷町・日向市
	10日	宮崎県北部地域町村議会議長連絡協議会総会	高千穂町
	11日	地域づくり懇談会	松尾・上椎葉
	10-12日	全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・第20回定期総会	福島県(南会津町)
	12日	地域づくり懇談会	小崎・尾八重
	16日	地域づくり懇談会	桐尾・大河内
	16-18日	都道府県町村議会議長会臨時総会	東京都
	19日	入郷地域期成同盟会要望活動	県出先機関
	20日	福岡鈴の音会	福岡市
		延岡村人会	延岡市
	21日	参議院議員選挙投票日	
	22日	総務文教・産業福祉常任委員会所管合同現地調査	尾向
	23日	東白杵郡町村議会議員研修会	日向市
	25-26日	例月監査	監査委員室
	25日	議会運営委員会正・副委員長研修会	宮崎市
		宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会	宮崎市
	26日	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会	宮崎市
		みすず会	宮崎市
	27日	日向支部消防操法大会	日向市
	28日	東白杵郡婦人スポーツレクリエーション大会	門川町
	30日	県道上椎葉湯前線整備促進協議会要望活動	日向市・宮崎市

編集後記

今朝は異常な猛暑日が続き自己の健康管理、作物の管理等に大変苦慮されていると察する今日この頃です。……どうぞ無理されずご自愛ください。

さて、今回から新メンバーでの「議会だより」の編集が始まりました。

村民の皆様にとってわかりやすい広報誌になるよう、議会や村政の様子をお伝えしていきたいと思います。皆様に喜んで見て頂けるよう委員一同、尽力してまいります。 岡村 正司

議会を傍聴しませんか？

9月定例会は、9月10日開会予定となっています。

《お問い合わせは議会事務局》

TEL 67-3209 FAX 67-3500

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。